

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	滋賀県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	大津市立真野中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	6	5	6	2	19	37
生徒数	181	172	212	2	567	

研究の概要

1. 研究主題

心のつながりを大切にする授業の創造 ～「確かな学力」の向上のため、個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善～
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>全学年全教科(自らの授業の力量を高めるためには、授業の内容や方法の工夫改善は欠かせないため)</p> <p>1年生・数学少人数指導(中学校の数学の入門期であり、子どもの理解度に差が出やすい教科であるため)</p> <p>全学年・英語少人数指導(英語を話すこと、書くことの表現活動をするには少人数が有効であるため)</p> <p>全学年・総合的な学習(学校として、課題解決能力を育成するために力を入れているため)</p> <p>全学年・選択学習(一人一人の興味・関心をもとに選び、補充的な学習および発展的な学習に取り組む教科で、学校として前年度より研究実績があるため)</p>
--

(2) 年次ごとの計画

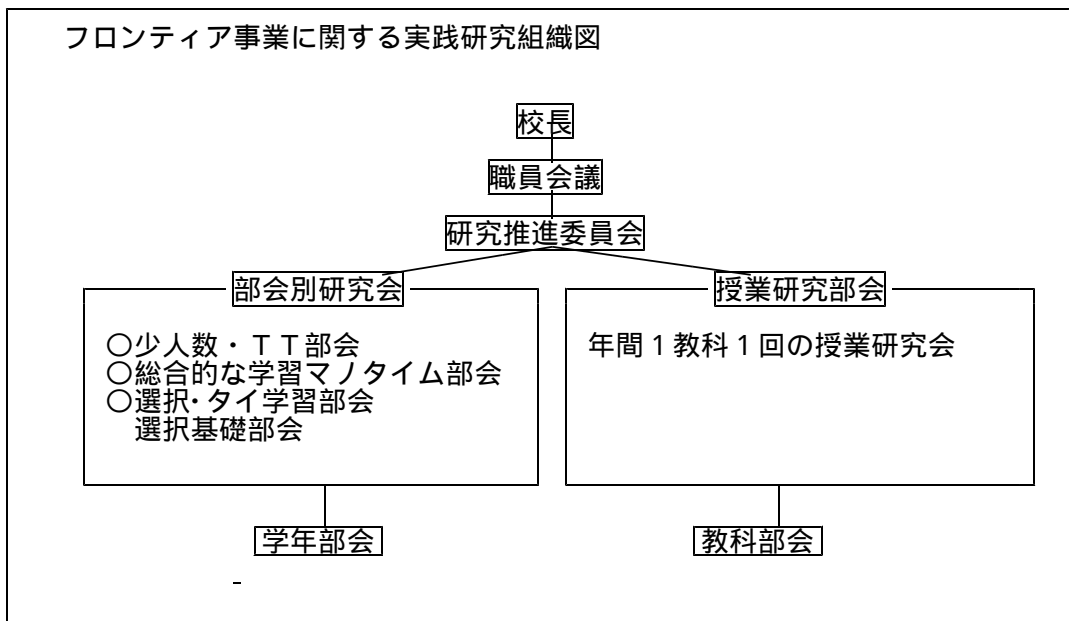
平成14年度	<p>テーマ 心のつながりを大切にする授業の創造 ～「確かな学力」の向上のため、個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善～</p> <p>仮説 授業研究・各教科で個々の生徒の適性に応じた授業を創造することにより、興味・関心を持って意欲的な学習が期待できる。その結果、学習の達成度についても十分な成果が得られるであろう。</p> <p>少人数指導・習熟度別グループを取り入れた少人数における指導方法を工夫すれば、生徒達は自分の力に応じた学習課題を選択できる。また、教師と生徒、生徒同士のかかわりが増え、個に応じたきめ細かな指導がやりやすくなる。その結果、生徒は意欲的に取り組み、確かな学力が育つであろう。</p> <p>総合的な学習・多様なかかわりと体験を通じた学習の指導方法を工夫すれば、生徒達は課題を見つけ、自ら考え、課題を解決しようとするだろう。また、自己の生き方を考える力も育つであろう。</p> <p>選択授業・各教科の学習を補充型・発展型・集中型・週固定型で実施することにより、生徒達は一人一人の興味・関心をもとに選び、得意分野を克服したり、得意な分野の力をさらに伸ばすことができ、確かな学力が育つであろう。</p>
--------	--

	<p>研究の内容・方法</p> <p>授業研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9教科で研究授業を実施し、各教科担当の教師はもとより、他の教科の教師も参観することにより、自らの授業の力量を高める。</li> <li>・ 提示の方法やワークシートなどの工夫。</li> <li>・ 各授業の中で評価をどのように位置づけるか、その評価の生徒への返し方を工夫する。</li> </ul> <p>少人数授業の指導方法・指導体制の工夫改善・教材の作成</p> <p>総合的な学習の指導計画、指導体制・教材の工夫改善</p> <p>選択授業の指導計画、指導方法・教材の工夫改善</p> <p>評価研究（目標・評価・指導の一体化、生徒の自己評価）</p> <p>評価観点の見直し</p> <p>評価カード、学習カードの工夫・改善</p> <p>通知票の工夫・改善</p>
--	---

平成 15 年度	<p>テーマ 心のつながりを大切にする授業の創造 ～「確かな学力」の向上のため、個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善～</p> <p>研究の見通し（仮説） 初年度に同じ</p> <p>研究の内容・方法 初年度の研究内容に加えて、子どもの実態把握の具体化（診断テストなど）に努める。</p>
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 心のつながりを大切にする授業の創造 ～「確かな学力」の向上のため、個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善～</p> <p>研究の見通し（仮説） 初年度に同じ</p> <p>研究の内容・方法 2年間の研究の成果をまとめるとともに、今後の課題の明確化を図る。</p>
----------------	--

(3) 研究推進体制



## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

### 1. 研究成果

**少人数指導（数学）**  
生徒が習熟度別少人数指導に対して理解を深め、適切なコース選択をし、学習意欲をもって取り組めるようになることが、前年度よりの課題であった。今年度は、単元ごとにレディネステストとポストテストを実施し、毎時間自己評価カードへの記入を行なった。12月の生徒へのアンケートによれば、60%の生徒が選んだコースが自分にとって非常にあったと答え、ますますあったと答えた生徒を含むと92%になる。また、今後も習熟度別コースでぜひ学習したいと64%の生徒が答え、まあまあ学習したいと答えた生徒は30%であった。この結果から、コースによって成績面で有利・不利がないこと、自分にあったペースで学習に取り組むことの大切さが理解されたといえる。  
習熟度別で学習する2つのコースで絶対評価を行なうため、共通課題を作成したり、同一課題であってもそのヒント（示唆する部分）で差をつけるなど、教材を工夫することができた。

**少人数指導（英語）**  
3学年にまたがり、週当たり1～2時間という形で少人数授業を実施した。生徒一人ひとりの力を伸ばしていくために、学習課題の特徴をつかみ、それを生かした多様な指導形態の工夫と教材の開発をすることができた。当初は指導形態の変化に生徒も教師もとまどいがあったが、徐々に慣れ、3種の指導形態が定着しつつある。  
習得の度合いに差があるグループ編成での学習は、生徒の教え合いを通して、よい人間関係を育成し、学習意欲を向上させる学習の場や雰囲気づくりにも役立った。  
習熟度の違いによるコース別授業のあとにアンケートを実施した。その結果、問題を自分の力で解こうとよく努力したと答えた生徒は60%、どちらかといえば努力したと答えた生徒は32%であった。学習内容がよくわかったと答えた生徒は46%、どちらかといえばわかったと答えた生徒は46%であった。わからないことを先生に聞きやすかったと答えた生徒は35%、どちらかといえば聞きやすかったと答えた生徒は48%であった。このアンケート結果から、習熟度別授業は、学習意欲・学習技術の向上、学習内容の定着のどの点でも有効であることが明らかとなった。

**総合的な学習**  
多様なかわりと体験を通して、生徒一人ひとりが課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し解決する態度や能力を育成することをめざし、実践研究を進めてきた。3年前に作成したカリキュラムに基づき、指導内容や指導過程、指導形態等の工夫改善、教材の開発をすることができた。  
また前年度からの課題である、生徒の実態把握や変容の把握のために、学習を終えた後、生徒の自己評価やアンケートを実施した。アンケート結果については現在集計中である。

**選択学習**  
本校では、昨年度までの選択学習に加えて、新たに基礎的補充的内容で「選択基礎」の時間を開設した。発展的課題解決的内容の「選択・」集中選択（タイ学習と呼ぶ）と、3種類の選択学習を実施することにより、多様な選択学習を展開することができた。  
特に「タイ学習」の実施により、今まで時間的な問題で取り組むことができなかった学習内容を提供することができたのは、意義があった。また、昨年度以上に教材や指導の改善・工夫に努め、学校以外の専門家にも指導に加わっていただくことにより、今までにない教材や学習の場を提供することができた。

### 2. 今後の課題

習熟度別少人数指導の評価規準の見直し  
習熟度別コースで取り扱う学習内容の見直しと、教材の開発  
作成した教材のストック方法と、復習用ワークシートの作成と提供方法の工夫  
総合的な学習に関するアンケート結果の分析  
選択学習の講座数・講座内容の検討

## 学力把握のための学校としての取組み

学力診断テストの実施  
1年生を対象に4月に行なった。教科は国語と算数で、入学時の生徒の学力実態をとらえる目的で実施した。

単元ごとの診断テスト  
1年生の数学の授業では、学習状況の変容をとらえるために、レディネステストとポストテストを実施している。

定期テストの実施  
大津市標準テストの実施  
2年生を対象に、2学期に国語と数学のテストを実施した。

生徒の自己評価の実施  
生徒の意識状況や変容をとらえるために、各学期ごとに、全学年において、総合的な学習に関する自己評価を実施している。

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

「学力向上フロンティア事業研究協議会」開催予定  
日時：平成16年11月  
場所：大津市立真野中学校  
内容：1年生の学級での公開授業（習熟度別少人数授業）  
講演  
対象：滋賀県内小中学校  
他府県の6校より研究視察に来校された。

真野中学校 Homepage <http://www.otsu-edunet.ed.jp/~manolj/>

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	3学級以下 7～9学級 13～15学級	4～6学級 10～12学級 16学級以上		
【指導体制】	少人数指導 その他	TTによる指導		
【研究教科】	国語 外国語 保健体育	社会 音楽 その他	数学 美術	理科 技術・家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】			有	無